

素形材産業ビジョン策定後の環境変化

急速な景気後退

- 世界的経済減速により、09年2月と比較して、50～60%程度まで減少。
- 現在でも、過去の景気後退期と同程度の生産レベル。

新興国市場の立ち上がり

- 新興国のマーケットへの変貌、自動車メーカーの調達戦略の変化等により部品調達は新興国へシフト。

地球温暖化問題への対応

- 地球温暖化問題への対応の中で検討されている再生可能エネルギーの全量買取制度や地球温暖化対策税が導入された場合、多大な負担増。

電気自動車への注目の高まり

- 従来車と比べ、電気自動車では部品点数が1/3程度減少。
- 電気自動車の普及に伴い、自動車のモジュール化が進展し、強みである垂直統合モデルが崩壊する可能性あり。

【電気自動車等の影響(自動車部品の変化)】

電気自動車によって不要となる部品(赤字)

部品名	従来車	電気自動車	削減率
エンジン	1,000	0	100%
トランスミッション	1,000	0	100%
駆動系	1,000	0	100%
ブレーキ	1,000	0	100%
サスペンション	1,000	0	100%
ステアリング	1,000	0	100%
ボディ	1,000	0	100%
電装品	1,000	0	100%
その他	1,000	0	100%
合計	10,000	3,750	62.5%

※削減(赤字)は、ハイブリッド車・電気自動車に共通する削減率を示す。ハイブリッド車・電気自動車特有の削減率は別途記載。

【エンジン部品】
 ○エンジン、給油系部品
 ○カムシャフト、バルブ機構、バルブ駆動機構の削減
 ○電気自動車
 ○従来車も含む影響
 ○インテークマニホールド、シリンダーカバー等
 樹脂(PA)へ素材変更

【電装品・電子部品】
 ○モーター・コントローラユニット
 ○ハイブリッド車・電気自動車
 ○急速な充電に対応する必要から、リチウムイオン電池への代替が必要

【車体部品】
 ○ボディー外板
 ○ハイブリッド車・電気自動車
 ○バックドア・サンルーフ等
 樹脂(PPなど)

【その他】
 ○ライト
 現在はリアランプなどでLEDを採用。今後にはヘッドランプへの普及が予測。
 ○ハロゲンなど
 LEDへの素材変更

課題

●素形材産業の事業活動をめぐる競争条件が変化中、今後、**ユーザーへの提案力・営業力が事業発展の大きな要素。**

●**新興国需要の取込**とアジア諸国の急速な競争力拡大を踏まえた**我が国事業者の競争力確保が必要。**

●人材・資金の面において、**単独では競争力確保に必要な設備投資、研究開発等の余力が不十分。**

●中小企業における省エネ対策に遅れ。

今後の方向性 ～我が国ものづくり基盤の確保～

ものづくりで我が国を再興する

- ☆我が国は、価格競争に陥らない高い品質の製品を送り出す拠点となることを戦略の中心に位置付け、世界中の製造業を引き付けていくことが重要。
- ☆我が国を製造業で再興するためには、サポーティングインダストリーの代表たる素形材産業の維持・発展が不可欠。

H18.5に策定したビジョンの方向性

1. 技術・技能を活かした攻めの経営
2. 健全な取引慣行で共存共栄
3. 産業集積を活用した競争力強化
4. 海外で儲ける仕組み
5. 同業/異業との積極的な連携
6. 多様な製品群への供給
7. 息の長い人材育成
8. 素形材産業に国民の目を振り向かせるために

追補版の方向性

1. 市場変化に対応したビジネス展開
 - ・ユーザー業界への提案力・営業力が事業発展の大きな要素(提案型ビジネスの構築)
 - ・海外需要を取り込む生産体制の構築
 - ・成長産業(環境・福祉等)への参入
2. 生産性の向上に向けた事業体制の構築
 - ・企業間連携による適正な企業規模の確保
 - ・事業領域の幅の拡大(複数工程への対応)
3. ものづくり人材の確保・育成
 - ・OB人材の活用等によるものづくり現場の維持・向上
4. エネルギー・環境対策強化(新規)
 - ・省エネ対策の推進
 - ・環境ビジネスの構築

それぞれの関係者に求められる取組

素形材産業界の取組

- 素形材産業界は、本ビジョン追補版を受けて、個別の産業ビジョンを再度見直し、素形材メーカーの持続的な取組みを促し、支援していくべき。

ユーザー産業界の取組

- 取引慣行の改善等を通じて、ユーザー産業と素形材産業がWIN-WINの関係を構築していくことが重要。
- 国内の過当競争を無くし、世界市場を見据えた戦略を実行するため、ユーザー産業界における産業再編を行っていくことが重要。

政府の取組

- 国内のものづくりを維持・発展させていくために、素形材産業の事業環境を整備・支援していくことが必要不可欠。
- 海外で儲ける仕組み：諸外国との事業環境のイコールフットリング、海外ミッション派遣、海外進出への検討を促すための連携構築に関する支援
 - 同業/異業との積極的な連携：企業間連携に伴う多様な資金ニーズへの対応、成功事例等の紹介
 - 多様な製品群への供給：成長産業へ参入するための異業種連携に対する支援、新分野へ進出するための研究開発支援
 - 息の長い人材育成：若年者のものづくり教育、OB人材の活用
 - 環境保全とビジネスの両立：工場や既存設備の効率改善の取組支援、省エネ設備導入の負担軽減